

1 議 事 日 程

〔令和6年太宰府市議会 環境厚生常任委員会〕

令和6年9月3日

午前10時00分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第50号 令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について
日程第2 議案第51号 令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について
日程第3 認定第2号 令和5年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第4 認定第3号 令和5年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
日程第5 認定第4号 令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第6 認定第5号 令和5年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（6名）

委員長	小 畠 真由美 議員	副委員長	長谷川 公 成 議員
委員	原 田 久美子 議員	委員	舩 越 隆 之 議員
〃	森 田 正 嗣 議員	〃	今 泉 義 文 議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（17名）

市民生活部長	佐 藤 政 吾	健康福祉部長	川 谷 豊
健康福祉部理事	大 谷 賢 治	市民課長	今 村 江利子
税 務 課 長	田 代 浩	納 税 課 長	松 田 勝 実
環 境 課 長	大 石 敬 介	人権政策課長兼 人権センター所長	河 野 貴 之
国保年金課長	山 口 辰 男	福 祉 課 長	山 崎 崇
生活支援課長	木 村 浩 一	介護保険課長	柳 谷 雅 子
高齢者支援課長	大 山 清 敬	保育児童課長	伊 藤 健 一
ごじょう保育所長	江 坂 美 輪	元気づくり課長	高 野 浩 二
子育て支援課長	竹 崎 雄一郎		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長	野 寄 正 博	議 事 課 長	花 田 敏 浩
書 記	陣 内 成 美		

開会 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（小畠真由美委員） 皆さん、おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから環境厚生常任委員会を開会いたします。

日程につきましては、お手元に配付しているとおりです。

直ちに議案の審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第50号 令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について

○委員長（小畠真由美委員） 日程第1、議案第50号「令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について」を議題とします。

補正予算書は24ページをお開きください。

執行部の説明を求めます。

介護保険課長。

○介護保険課長（柳谷雅子） 議案第50号「令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について」ご説明いたします。

補正予算書24ページ、25ページをお願いいたします。

今回の補正は、保険事業勘定の歳入歳出予算にそれぞれ7,786万円を追加し、予算総額を62億4,691万6,000円にお願いするものでございます。

詳細な補正の内容につきましては、事項別明細書でご説明いたします。

歳出からご説明させていただきます。

34ページ、35ページをお願いいたします。

1款1項1目一般管理費、細目002庶務関係費、22節償還金、利子及び割引料6,000万8,000円でございますが、これは令和5年度介護給付費負担金及び地域支援事業支援交付金等につきまして精算が完了し、超過交付となりましたので返還するものでございます。

内容といたしましては、介護給付費負担金の国への返還金3,578万5,000円、県への返還金1,521万6,000円、地域支援事業支援交付金（総合事業）の支払基金への返還金408万7,000円、地域支援事業交付金の国への返還金302万8,000円、県への返還金189万2,000円でございます。

次に、1款3項1目介護認定審査費46万2,000円でございますが、このたび筑紫地区で共同設置をしております筑紫地区介護認定審査会のシステムが国の標準化対象となったことに伴い、フィット&ギャップ対応の経費が必要となりました。

今回の負担金46万2,000円の内訳についてご説明いたします。

筑紫地区全体に必要な委託料は247万5,000円で、5市で割りますと1市当たり49万5,000円となりますが、筑紫地区介護認定審査会事業特別会計におきまして他の使用料及び賃借料等の執行残によって1市当たり3万3,000円の不用額が出たことにより、差引き46万2,000円を筑紫

地区介護認定審査会負担金として計上するものでございます。

次に、５款１項１目介護給付費準備基金積立金、細目001基金積立金、24節積立金1,739万円でございます。これは保険料の剰余金でございます、令和５年度の負担金、交付金等の精算分と前年度繰越金との差引きを基金に積み立てるものでございます。

これらの歳出予算の財源でございますが、補正予算書30ページ、31ページをお願いいたします。

まず、償還金及び基金積立金の財源につきましては、令和５年度の精算により追加交付金として、３款２項４目地域支援事業交付金（包括的支援事業及び任意事業）、２節過年度分144万8,000円、同じく５目地域支援事業交付金（社会保障充実分）、２節過年度分108万5,000円、４款１項１目介護給付費交付金、２節過年度分994万8,000円、５款２項２目地域支援事業交付金（包括的支援事業及び任意事業）、２節過年度分72万4,000円、５款２項３目地域支援事業交付金（社会保障充実分）、２節過年度分54万2,000円、７款１項６目低所得者保険料軽減繰入金、２節過年度分211万9,000円、続きまして、32ページ、33ページをお願いいたします、８款１項１目１節前年度繰入金6,153万2,000円の以上でございます。

次に、介護認定審査費の財源につきましては、前のページに戻っていただきまして、７款１項５目２節事務費繰入金46万2,000円となります。

説明は以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 歳出のほうの介護認定審査費で46万2,000円という数字が上がっておりますけれども、今理由をお聞きしたところ、結局５市共通の審査システムを作り上げるということで、それぞれ総合経費を割ったものに控除金額、控除を出したものが一応46万円という形で数字が出てくるというふうにお聞きしたんですけれども、いわゆる国仕様のシステムというのは言葉としてはするっと入るんですけれども、結局今まで私どもが使っていたシステムとはどんなふうに違うのでしょうか、ご説明をお願いしますでしょうか。

○委員長（小畠真由美委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（柳谷雅子） このシステムの標準化ということでございますけれども、デジタル庁が全国的に推進しているものでございまして、これまで各業務のデータ管理を行う基幹業務システムにつきましては、自治体ごとにカスタマイズを行いまして、制度改正のたびに個別に対応を行うなどの課題がございました。そこで、国が標準化を行うことにより、国が定める標準仕様書に合わせて標準に準拠したシステムをベンダーが開発し、自治体は原則標準準拠システムを共同利用することにより運用経費の削減ですとか自治体を持つデータの標準化というのにつながるという目的でございます。

○委員長（小畠真由美委員） よろしいですか。

長谷川副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） すみません。前に聞いとると思っているけれども忘れてしまつて、ちょっと教えてください。

筑紫地区介護認定審査会は今どれぐらいのペースで開かれているのか教えてください。

○委員長（小畠真由美委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（柳谷雅子） 審査体制でございますが、32の合議体がありまして、令和5年度では年間698回の審査会を開催しております。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。いいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで質疑を終わります。

次に、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第50号について原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、議案第50号「令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について」は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成5名、反対0名 午前10時09分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第51号 令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について

○委員長（小畠真由美委員） 次に、日程第2、議案第51号「令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について」を議題とします。

補正予算書は36ページをお開きください。

執行部の説明を求めます。

人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 議案第51号「令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について」ご説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出総額に歳入歳出それぞれ54万5,000円を追加し、予算総額を90万1,000円とするものであります。

内容といたしましては、令和５年度決算において54万5,000円の剰余金が確定したことにより、住宅新築資金等公債償還積立金に計上するものであります。

説明は以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで質疑を終わります。

次に、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第51号について原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、議案第51号「令和６年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１号）」について」は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成５名、反対０名 午前10時11分〉

○委員長（小畠真由美委員） それでは、ここで次の日程に入ります前に申し上げます。

日程第３から日程第６は、各特別会計の歳入歳出決算認定となります。執行部の説明に当たっては、各会計とも先に決算全体において要点の説明をいただきます。その後、質疑に移り、審査を進めてまいりたいと思います。

なお、質疑についてはページごとに進めませんので、質疑される委員は、まずページ番号と該当箇所をお示しの上、質疑を行っていただきたいと思います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第３ 認定第２号 令和５年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（小畠真由美委員） それでは、皆さん、ご準備のほうをしていただきながら、日程第３、認定第２号「令和５年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（佐藤政吾） 認定第２号「令和５年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の271ページから302ページ、事務報告書は70ページ及び71ページ、それから84ページになります。決算審査及び基金の運用状況審査意見書は35ページから37ページ、51ページとなっております。

初めに、本市国民健康保険の加入状況ですが、事務報告書の70ページをお願いいたします。

表の一番上の一般状況ですが、年度平均世帯数は8,587世帯で、前年度と比べ361世帯、4.0%の減、年度平均被保険者数は1万2,847人で、前年度と比べ741人、5.5%の減となっております。

続きまして、決算の状況についてご説明申し上げます。

決算書の272ページ、273ページをお願いいたします。

歳入の決算につきましては、収入済額の欄の一番下、68億5,020万2,665円で、前年度と比べ4,425万5,113円、0.6%の減となっております。

決算書の274ページ、275ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、支出済額の欄の一番下、67億8,758万5,631円で、前年度に比べ711万7,420円、0.1%の減となっております。

歳入から歳出を差し引きますと、6,261万7,034円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

278ページ、279ページをお願いいたします。

1 款国民健康保険税ですが、収入済額の欄の一番上、13億75万8,577円で、前年度に比べ9,241万1,911円、6.6%の減となっております。

280ページ、281ページをお願いいたします。

3 款県支出金ですが、収入済額の欄、47億4,409万4,000円で、前年度に比べ2,716万4,000円、0.6%の増となっております。

一番下の5 款繰入金ですが、6 億6,539万1,389円で、前年度に比べ2,403万9,583円、3.7%の増となっております。

282ページ、283ページをお願いいたします。

中ほどの6 款繰越金ですが、9,975万4,727円で、前年度に比べ2,116万3,652円、17.5%の減となっております。

次に、歳出の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

290ページ、291ページをお願いいたします。

2 款保険給付費ですが、支出済額の欄、46億2,549万8,263円で、前年度に比べ1,236万9,461円、0.3%の増となっております。

294ページ、295ページをお願いいたします。

3 款国民健康保険事業費納付金ですが、18億6,485万2,466円で、前年度に比べ643万6,165円、0.3%の増となっております。

296ページ、297ページをお願いいたします。

5款保健事業費ですが、8,990万3,546円で、前年度に比べ1,644万3,950円、22.4%の増となっております。

前年度に引き続き黒字決算となりましたが、国民健康保険制度につきましては、被用者保険、いわゆる社会保険と比べ年齢構成や医療費水準が高く、所得水準が低いという構造的な課題、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行や被用者保険の適用拡大による被保険者の減少により、非常に厳しい状況が続いております。本市といたしましては、引き続き保険税の収入確保に努めるとともに、医療費適正化の取組や市民の健康づくりに資する取組をはじめとする保健事業等を行うことで、国民健康保険財政の健全な運営に努めてまいります。

説明は以上でございます。

○委員長（小島真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

長谷川副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） 289ページの文言なんですけれども、ちょっと教えてください。

289ページの2項1目の002徴収関係費の下の18のところのこれはジャンパって読み方で合っているんですかね。J AMP A年会費というのは何か教えてください。

○委員長（小島真由美委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） これは読み方がジャムパという略称にはなっていますが、こちらの年会費というものがいわゆる電子ペイとか、あとは口座振替の申込み等を電子でやる部分の手續に関して年会費をお支払いしてその利用をさせていただいているというものでございます。

○委員長（小島真由美委員） よろしいですか。

ほかにありませんか。

今泉委員。

○委員（今泉義文委員） 事務報告書の70ページの2章の1の一般状況のところ、世帯数が8,587件ということで360件ほど減ったということですが、引っ越しとか亡くなられたりとかそういうのはつかめるものなんですか。

○委員長（小島真由美委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） この分につきましては、毎月月報というので報告をしております、その中に出生であったり転出であったり転入であったり死亡であったり、そういった詳細のものは載っております。それで、世帯数が減った大きな原因は、やはり後期高齢者への移行が多いということと、あと被用者保険への適用の拡大の部分で世帯数自体が減ってきているというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（小島真由美委員） よろしいですか。

ほかにありますか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 大したことではないんですけども、事務報告書の71ページの医療費給付の状況の中にハリ・キュウとあります。それで、一番下のほうにもはり・きゅう助成というのがありますけれども、この片仮名と平仮名との違いを教えてください。

○委員長（小畠真由美委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） 片仮名のハリ・キュウのほうは、いわゆる国が定めます診療の部分がこちらのハリ・キュウで、下の平がなのはり・きゅうにつきましては、筑紫地区5市で共同実施をしておりますはり・きゅう助成ですね、協定を結んでその半分を助成するというところでのはり・きゅうという使い分けをしております。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

すみません、私のほうから1つ教えてください。

不納欠損額の状況なんですけれども、もちろん努力していただきながら頑張っていたいていと思うんですが、ここの中の数字の中に、例えば短期被保険者証の発行のときの生活相談をそこでやったりとかしながら生活保護に結びつけたりとか、またはそのときの収納状況の内容、今の状況をちょっと教えていただけたらと思いますが。

国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） まず、不納欠損でございますけれども、納税課のほうで一生懸命頑張っていただきまして、徴収率というのを上げていただく努力をしていただいております。そういった中でも、財産調査とか財産の処分等によってもう処分ができなくなったものについての執行停止をかけたり、5年たって所在不明となってそのまま不納欠損になったりとか、あとは相続放棄等によって不納欠損というふうになっているものがございます。

それから、健康保険証の短期証であったりその交付ですけれども、しっかりと納税課のほうで納税相談をしていただき、その辺で結構なかなかお約束が難しいというような方につきましては納税課のほうで生活支援のほうの案内であったりと、そういった部分を行っている状況でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 件数とかそこら辺の状況とかは分かりませんね。じゃあ、今数字的なものとかで説明できるところはあまりないですね。

納税課長。

○納税課長（松田勝実） 現状、令和6年に入りましてということでは今ご説明はできませんけれども、令和4年度と令和5年度の不納欠損額の推移というところでいきますと、前年度比の89.6%というところで、不納欠損の総数としては減少の方向というところで頑張っているところでございます。

○委員長（小畠真由美委員） ありがとうございます。

一つ心配をしたのは、要するに減免とかのご案内とか生活状況が大変ということでお支払いができないと、納税ができないというような状況があったら、そこから横断的な支援だとかそういういったところに結びつけていった数字とかが分かったら教えてもらいたいと思ったものだからご質問させていただきましたので、その辺はまだ納税課では把握はよくできてない感じがすかね。

納税課長。

○納税課長（松田勝実） はい、その数字につきましては捉えておりません。ただ、委員長がおっしゃるとおり、私どものほうで納税相談というところで生活状況等が非常に悪いというようなことがありましたら、生活支援課のほうにおつなぎするということは随時させていただいております。

○委員長（小畠真由美委員） 分かりました。ありがとうございます。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 事務報告書の71ページの(3)のその他の保険給付の状況というところの真ん中辺で、出産の育児給付が35件、それと葬祭給付が72件、傷病手当が2件と書いてありますけれども、前年から比べたらどんなふうですか。この出産給付金とかを受けた件数とかは前年から比べたら増えているんですか、少なくなっているんですか。

○委員長（小畠真由美委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） まず、出産育児一時金でございますが、この分につきましては令和3年度が39件、令和4年度が39件、令和5年度が35件という形で、出生数は微減しているという状況でございます。

それから、葬祭費のほうは、令和3年度が81件、令和4年度が73件、令和5年度が72件という形で推移をしております。傷病手当金でございますが、こちらにつきましてはコロナウイルスによる事業の停止とか縮小とか、そういった部分において適用がされるものでございまして、令和3年度は3件、令和4年度が38件、令和5年度が2件という形で、件数は令和4年度が一番大きくなってございます。

以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） すみません。この傷病手当というのは正確にはどげな手当なんですかね。今コロナのどうのこうのと言わっしゃったけれども、実質的に分かりやすく教えてもらおうと助かりますけれども、どういうふうなものを傷病手当と言うんですかね。

○委員長（小畠真由美委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） こちらのほうにつきましては、従来は国民健康保険の中にこの傷病手当金という概念はなかったんですけれども、コロナウイルス感染症が蔓延したことによって急遽国民健康保険のほうもコロナウイルスに限ってこの傷病手当金を適用すると、導入するということになりまして、例えば店舗、飲食店を経営されておられて、それで結局収入が減っ

て、それでなかなか保険税とかいろいろな部分を納めるのが相当厳しいという基準がありまして、その基準に沿ってこの傷病手当金という、違います、すみません、それはまた別の話です。

コロナウイルスにかかれて、入院されます。入院されて、その費用がいろいろな部分で結構かかってくるという部分に対して補填するという性格のものでございます。

○委員長（小畠真由美委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） それでは、これで質疑を終わります。

次に、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第2号について認定することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、認定第2号「令和5年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」は認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成5名、反対0名 午前10時32分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 認定第3号 令和5年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（小畠真由美委員） 次に、日程第4、認定第3号「令和5年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（佐藤政吾） 認定第3号「令和5年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、その内容をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の303ページから316ページ、事務報告書は72ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は37ページから39ページ、51ページとなっております。

決算書の304ページ、305ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、収入済額の欄の一番下、14億5,464万880円で、前年度に比べ5,364万5,244円、3.8%の増となっております。

決算書の306ページ、307ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、支出済額の欄の一番下、14億744万300円で、前年度に比べ

5,244万7,005円、3.9%の増となっております。

歳入から歳出を差し引きますと、4,720万580円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

308ページ、309ページをお願いいたします。

一番上の1款保険料11億4,568万3,097円ですが、事務報告書の72ページをお願いいたします。

表の上段、対象者の状況に記載のとおり、令和5年度は被保険者数が1万1,167人と前年度より478人増加したこともあり、前年度に比べ3,651万6,016円、3.3%の増となっております。

決算書の308ページ、309ページに戻りまして、中ほどの3款繰入金ですが、2億6,156万8,592円で、前年度に比べ1,686万3,556円、6.9%の増となっております。

310ページ、311ページをお願いいたします。

5款繰越金ですが、4,600万2,341円で、前年度に比べ153万3,461円、3.4%の増となっております。

次に、歳出の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

312ページ、313ページをお願いいたします。

一番上、歳出全体の99.9%を占めます1款総務費ですが、14億688万7,530円で、前年度に比べ5,449万1,654円、4.0%の増となっております。

また、総務費の中でも中ほどの広域連合負担金は13億8,673万1,136円で、総務費の98.6%を占めております。

次に、事務報告書の72ページをお願いいたします。

広域連合負担金の内訳ですが、事務費負担金が2,954万561円、保険料負担金が11億4,531万8,938円、保険基盤安定制度負担金が2億1,187万1,637円となっております。

後期高齢者医療制度につきましては、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行による被保険者の増加や高齢化、医療の高度化などの医療費の増加などによりまして、財政的にますます厳しくなる見込みであります。本市といたしましても、保険者である福岡県後期高齢者医療広域連合と連携して、今後とも適正な運営に努めてまいります。

説明は以上でございます。

○委員長（小島真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小島真由美委員） これで質疑を終わります。

次に、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第3号について認定することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、認定第3号「令和5年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」は認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成5名、反対0名 午前10時39分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第4号 令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（小畠真由美委員） 次に、日程第5、認定第4号「令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

健康福祉部理事。

○健康福祉部理事（大谷賢治） 認定第4号「令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の319ページから370ページ、事務報告書は73ページ、74ページと85ページ、決算審査及び基金運用状況審査意見書は40ページから43ページ、53ページと54ページとなっております。

初めに、本市の高齢者を取り巻く状況についてでございますが、来年の2025年には団塊の世代の方が75歳を迎え、高齢化は一層進み、高齢者の独り暮らしの世帯や認知症高齢者の増加も見込まれます。本市の令和5年度末現在の第1号被保険者数は2万3人で、前年と比べ69人、0.3%の減、要介護・要支援認定者数は3,532人で、前年と比べ64人、1.8%の増となっております。

それでは、決算の状況についてご説明を申し上げます。

まず、保険事業勘定からご説明申し上げます。

決算書の320ページ、321ページをご覧ください。

歳入の決算につきましては、歳入総額は56億7,587万7,662円でございます。前年度に比べ1億1,370万4,173円、2%の増となっております。

次に、322ページ、323ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、歳出総額は56億1,434万6,655円でございます。前年度に比べ1億1,878万4,753円、2.2%の増となっております。

歳入から歳出を引きました額は6,153万1,007円でございます。黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明いたします。

324ページから333ページをお願いいたします。

まず、1 款保険料は65歳以上の第1 号被保険者保険料で12億3,324万7,085円でございます、前年度に比べ878万2,634円、0.7%の減となっております。

3 款国庫支出金でございますが、12億6,206万2,721円でございます、前年度に比べ6,479万9,155円、5.4%の増となっております。

次に、4 款支払基金交付金でございますが、40歳から64歳までの第2 号被保険者保険料でございます、各医療保険者が健康保険料と一緒に徴収している介護保険料を交付金として14億425万1,096円を受け入れており、前年度に比べ2,383万3,096円、1.7%の増となっております。

5 款県支出金でございますが、7 億9,950万8,609円でございます、前年度に比べまして4,693万5,640円、6.2%の増となっております。

次のページをお願いいたします。

7 款繰入金でございますが、9 億937万9,594円でございます、前年度に比べ2,898万4,860円、3.3%の増となっております。

なお、基金からの繰入れや介護サービス事業勘定からの繰入れは行っておりません。

次に、歳出の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明をいたします。

334ページから339ページをお願いいたします。

1 款総務費でございますが、2 億5,986万4,346円でございます、前年度に比べ2,567万5,918円、9 %の減となっております。

主な要因といたしましては、筑紫地区介護認定審査会事務局への職員の派遣終了に伴う人件費の減や令和4 年度の介護給付費交付金などの精算に伴う償還金の減などによるものでございます。

338ページから347ページをお願いいたします。

2 款保険給付費でございますが、50億3,010万6,258円でございます、前年度に比べ1 億1,426万8,866円、2.32%の増となっております。

346ページから359ページをお願いいたします。

3 款地域支援事業費でございますが、2 億7,976万8,909円でございます、前年度に比べ2,201万3,707円、8.5%の増となっております。

この増額の主な要因といたしましては、一般介護予防事業費の増によるものでございます。

以上が保険事業勘定の概要でございます。

続きまして、介護サービス事業勘定についてご説明いたします。

決算書の362ページから365ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入総額5,391万5,841円でございます、前年度に比べ81万3,237円、1.5%の減となっております。

次のページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、歳出総額5,391万5,841円でございます、前年度に比べ81万3,237円、1.5%の減となっております。

歳入から歳出を引きました額は0円となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明をいたします。

決算書の366ページ、367ページをお願いいたします。

1 款サービス収入でございますが、4,387万4,820円でございます、前年度に比べ222万6,111円、5.3%の増となっております。

次に、歳出の主なものにつきまして、事項別明細書にてご説明をいたします。

決算書の368ページ、369ページをお願いいたします。

歳出の全額が1 款総務費でございます、5,391万5,841円で、前年度に比べ81万3,237円、1.5%の減となっております。

以上がサービス事業勘定の概要でございます。

本市といたしましては、地域住民の互助による活動や介護予防のさらなる取組、関係機関などが一体となり、自立支援、重度化防止などを推進することで、介護保険財政の健全な運営に努めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○委員長（小島真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

では、私のほうからすみません。

まず、355ページの紙おむつ給付費というところで、細目002家族介護支援事業費の中にありますが、この事務報告書の73ページを見ますと、居宅介護の方たちが大分増えてきていて2,000人の大台をこの2年間で超してきて、要介護1、2というところの方たちも非常に増えてきているということで、この紙おむつ事業費1,700万円余りなんですが、そもそもの決算書の1,000万円以上の事業の説明、それに載ってないのは何でなんですかね。

高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（大山清敬） こちらの事務報告書に載りますのは委託料と工事費でございますので、今回このおむつにつきましては19節でございますので、事務報告書、契約のほうには1,000万円以上であっても載せておりません。

以上です。

○委員長（小島真由美委員） じゃあ、ちょっとお聞きしますね。

やっぱり事業者さんは何社入られていて、今の昨今の資材の高騰とかで、これは予算的には太宰府市独自でやっている任意事業だと思うんですけども、なのでこれはずっと恐らく増え続けていく可能性もあるんですが、その辺の見解はどうお考えなのか。それから、右肩上がりにこの紙おむつの支給の金額も上がっていくというような見解の中で、事業者の決め方とかと

というのはどのようにして行われているのかも含めて教えてください。

高齢者支援課長。

○**高齢者支援課長（大山清敬）** まず、業者でございますが、業者につきましては令和5年度は3社でございます。それで、今現在も3社でございます。

今後の見込みとしましては、委員長が言われますように高齢者人口が増加するに当たって需要も多くなるというふうに見込んでおります。それで、国のほうからは任意事業から外すようにということで平成27年度からずっと通知はあっておりますが、それまでに事業を実施しているところにつきましては、事業の縮小であったりそういった廃止を検討することを条件に地域支援事業の任意事業で継続しても構わないということで通知が来ておりますので、今現在はそれに基づいて実施しておるところでございますが、今後各市町村は縮小であったりそういった廃止という動きもございますので、各市町村の動向を見ながら本市につきましても調査研究を重ねてまいりたいと思っております。

○**委員長（小畠真由美委員）** 分かりました。ありがとうございます。

それと、もう一つお聞きしていいですか。

347ページの訪問型サービスA事業の委託料が12委託料であると思います。これはシルバー人材センターに委託している分だと思えますけれども、件数を見ますと961件ですね。これはシルバー人材センターでは何人就業されているというか、何人でこれはされている感じですかね。これは2人ペアか何かで行かれるんですかね。内容を少し教えてください。

高齢者支援課長。

○**高齢者支援課長（大山清敬）** まず、サービスAで言いますけれども、身体介護を伴わないサービスを行っておりまして、例えば買物であったり掃除、食事、そういったサービスを行っている事業でございます。

この961という数字でございますが、これは延べ人数でございまして、大体実の利用者人数が282名となっております、月平均23件、23人がご利用されている状況でございます。

○**委員長（小畠真由美委員）** シルバー人材センターは何人ぐらいここで従事されているとかというのは分からないんですね。

高齢者支援課長。

○**高齢者支援課長（大山清敬）** すみません。その数字は今は把握していません。

○**委員長（小畠真由美委員）** 高齢者、人材センターにとっては非常に働くというところでは就業にいいお仕事ではないかなと思いますので、ぜひまた身の回りのこととかしていただくことは大変ありがたい内容ですので、周知のほうも含めてお願いをしたいと思った次第です。

皆さんのほうからなければ、これで質疑を終わります。

次に、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小畠真由美委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第4号について認定することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小畠真由美委員） 全員挙手です。

したがって、認定第4号「令和5年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」は認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成5名、反対0名 午前10時56分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第6 認定第5号 令和5年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（小畠真由美委員） 次に、日程第6、認定第5号「令和5年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（佐藤政吾） 認定第5号「令和5年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の372ページから382ページ、事務報告書は75ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は44ページから45ページ、52ページとなっております。

決算書の372ページから373ページをお願いいたします。

歳入歳出決算につきましては、歳入総額が232万83円となっており、対前年比では203万7,894円の減額となっております。

歳出決算につきましては、歳出総額177万4,118円となっており、対前年比では108万679円の減額となっております。

歳入及び歳出が減額になりました主な理由は、令和4年度の償還金が令和3年度の償還金を下回り、歳入における前年度繰越金、歳出における基金積立金が減額になったことによるものでございます。

歳入から歳出を引きました差引き残高は、54万5,965円の黒字決算となっております。

今後の滞納解消に向けた取組といたしましては、経済状況が厳しい状況の中、償還計画相談を行い、計画的、継続的な返済を促し、滞納解消に努めていきます。また、返済困難者に対しては、県や委託弁護士と相談し、県の助成金制度を活用し、滞納整理を行います。

説明は以上でございます。

○委員長（小畠真由美委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。



(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小畠真由美委員) これで質疑を終わります。

次に、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小畠真由美委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第5号について認定することに賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

○委員長(小畠真由美委員) 全員挙手です。

したがって、認定第5号「令和5年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」は認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成5名、反対0名 午前10時59分〉

○委員長(小畠真由美委員) 以上で当委員会に審査付託されました案件の審査は全て終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(小畠真由美委員) ここでお諮りします。

本会議における委員会の審査内容と結果の報告、及び閉会中の委員派遣承認要求書の提出につきましては、委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小畠真由美委員) 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定しました。

以上で環境厚生常任委員会を閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小畠真由美委員) 異議なしと認めます。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(小畠真由美委員) 以上をもちまして環境厚生常任委員会を閉会します。

閉会 午前11時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

太宰府市議会委員会条例第27条により、上記のとおり環境厚生常任委員会の会議次第を書記に記録させ、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和6年11月14日

環境厚生常任委員会 委員長 小 畠 真由美